

## 今後の部会での取組・検討内容案

### これまで(専門部会・情報提供会等)の意見

#### 保護者層の積極的な参画を促すための取り組みについて

保護者が参加しやすいよう昼間や土日に開催したり、一日の中で様々な時間に開催してはどうか。



必ず参加者が増える曜日・時間帯はないと思われることから、開催日時はこれまでとおり、原則毎月3回目の火曜日とします。

もっと話しやすい議論の場(例:校区単位、幼稚園・保育園単位等)を持つてはどうか。



池上・幸校区各町会長を対象とした情報提供会の開催やPTAの集まり等への出張説明を実施  
【具体案】  
①池上・幸校区各町会長を対象とした情報提供会を開催(2月・方針決定時)  
②保護者を対象とした情報提供会を開催(方針決定時)

もっと当事者である保護者の盛り上げ方を考えるべき。



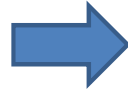
①授業参観時に学校へチラシの設置やメールでの開催情報の通知  
【具体案】  
2月、4月の授業参観時に、検討状況の情報を教室の前に設置  
②参加者からの呼びかけ  
【具体案】  
専門部会の参加者が様々な機会において口コミによる参加誘導

地域の子ども園に通っていない未就学児や未就園児の保護者には、取組情報が届いていない



節目での部会開催情報等について全戸配布  
【具体案】  
①就学前保護者へは、開催チラシを全戸配布(2月・方針決定時)  
②校区内3こども園において、掲示に加え配布を依頼  
②イベント開催時等において情報発信のための登録の呼びかけ  
【具体案】  
1月に開催される「みんなの居場所づくりイベント」にて登録の呼びかけ

色々工夫しても、仕事など家庭のことが精一杯で参加は難しいのではないか



メールやSNSを活用し、会議に参加できない人が意見を出せる環境の整備  
【具体案】  
市ホームページやFACEBOOK等のSNSにおける富秋中学校区まちづくりページの創設

## 今後の部会での取組・検討内容案

### これまで(専門部会・情報提供会等)の意見

#### 不安や懸案事項を解消するための取り組みについて

・今の富中の生徒と一緒にするのは不安。(上級生の悪い影響が早くから及ぶこと)
・9年間同じ学校に行くことで、(いじめ等)何か問題が起きるのでは。
・課題はたくさんある。通いたくなる学校にしたい。今のままでは通いたいと思えない。



2月
・富秋中学校区における取組状況(学校、地域での取組項目)を報告
・3校の交流状況を報告
上記報告内容に基づき次のようなことを議論
① 今後、学校or地域or保護者が何をすべきか
② 誰にどのような支援をすることで、不安解消が可能か意見交換 等

・地域の人たちが入り込み、多世代交流が盛んな学校が作れないか。
・和泉市のモデルとなる、通わせたいと思われる学校をつくりたい。
・将来に向けた教育が必要、良い環境を考えてほしい。
・子どものやりがいあるイベント(組体操や騎馬戦)が半減する。小6の最高学年の自覚など
・どのような機会を子ども達に与えるのかを考えることが重要。
・何か画期的なことを行い、市外からも通える「特認校」としてはどうか。
・通学の距離・安全面(特に低学年)、線路を越えることが心配。
・地域特性をふまえた教育方針の討議が必要。



3月
・富秋中学校区で施設一体型小中一貫校をめざす場合に考えられる想定教育内容のイメージを報告
・通学等の基本的な考え方を報告
・留守家庭児童会の基本的な考え方を報告
上記報告内容をベースにどのような教育内容や環境が望ましいのか意見交換

#### 別の部会(検討会議)で検討すべき事項

・学校跡地の使い方も議論すべき。
・(一貫校化した場合)指定避難先の距離が遠くなる。残った学校の使い方も考えるべき。災害の際にまず避難できる場所として、集会所の配置等を含めた検討が必要。

学校跡地利用、学校既存機能(避難所・学校開放)の扱いは、まち全体に関わるテーマのため別の会議の場(検討会議または他部会)で1～3月に議論 ⇒どの会議で協議するかは1月検討会議で決定
---

#### 本部会での意見集約について

・2月、3月における意見交換、別の部会(検討会議)での報告を踏まえ、部会として、検討会議に報告する内容を意見集約(4月～5月)